

# おお大勝利

平成 28 年度山東サッカー一部報第 10 号 (7 月 4 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## 勝ち点3を得ただけの凡戦 対明正2連戦目

7 月 2 日 (土) Y2B 第 7 節山形明正 A 戦が行われました。明正戦は 2 週連続。前節は新チーム初戦となる試合で、新主将 2 年 GK ハレルによる自戦解説を部報 9 号でお伝えしました。**スコアは 5-1 の「圧勝」でしたが、ハレルの文面にも表れておりましたように、内容はほぼ互角と言ってよかった。**少なくとも 5-1 の実力の開きがあった試合内容ではなかった。「やはり新チーム、まだまだだな」という試合だった。

そして、その翌週。**火曜日～木曜日の 3 日間クラスマッチ、金曜日あかねが丘の陸上競技場 (昔の県陸) で体育祭と、4 日間にもわたる伝統の体育系行事**が続いた週末に 2 連戦目が行われました。**私は必ず難しい試合になると予想しておりました。**「新チームで圧勝したのだから、3 年生もいるゲームでは楽勝でしょう！」などという外野の声が聞こえてきそうですが、そんな風に選手が勘違いをしたら大変！！

- (1) 前節故障で出場していなかった要警戒の明正のアタッカーが今週は出てくるだろう
- (2) スコアが圧勝だったから忘れてしまいそうだが、前節の内容はそもそも互角だった
- (3) クラスマッチ・体育祭明けの試合は、毎年選手の心身のコンディション不良が目立つ
- (4) 3 年生中心の先発メンバーが当たるかどうか読めない
- (5) 新チームで勝ったことで、どうしても心理的な隙ができる

とまあ、不安な点だらけでした。練習に際しては、かつてタダケンの代 (山東 62 回卒) の新チームにて県リーグで二桁失点で羽黒にボコられ、県新人決勝！でも大差で敗れたが、その後の選手権準決勝で引き分けて PK 合戦に持ち込んだ過去<sup>1</sup>、すなわち前の対戦が頭にあって油断すると大変なことになり得る他チームの過去について話をし、選手の気持ちを引き締めていました。というか、**そもそもこのチーム、去年の選手権予選では明正に敗れており、われわれが雪辱を期すチャレンジャーであることを忘れてはならない。**

明正はここまでの Y2B で苦しい戦いを強いられている。正直、リーグ戦開幕にあたって私は明正を最も警戒していただけに、明正の苦戦は予想外。しかし、ここから上がってくるでしょう、攻撃陣のスキルは高いので。

山東はここまでの Y2B、丁寧に勝ち点を積み上げてきた (ここまで **5 勝 1 分け**)。前節の勝ちは一応新チームのものなので、それを後期に回すと、**この試合が前期 6 試合目 (ラスト前)**ということになる。そして前期だけで考えると、**この試合勝ちか引き分けて、ラスト 7 試合目を待たずに山東の前期優勝が決まる。**この 3 年生のいるチームの目標は、県総体優勝と前期リーグ戦優勝ですから、それに王手がかかっている。まあ、前期最終戦ではなかつ

<sup>1</sup> その年近辺は、例外的に、県新人の後に選手権予選を行っていました。7 月に選手権予選の第 1 ラウンドを行っていた時代 (またはその名残) かもしれません。

たので、前期優勝をあまり意識させずに、それよりも気合入れていこうということだけは徹底させて、試合に臨みました。

いつものように、**清野総監督、後藤報道局長、そして齋藤 GK コーチがいらっしゃる。**また、ホーム明正を凌ぐ多くの保護者の皆さまが駆けつけて下さる。**清野総監督と同期の工藤先輩も皆出席ペースでこの日もいらっしゃった。**試合後挨拶に来てくれましたが、**3月に卒業したばかりのOBカツミも、受験勉強の合間を縫って応援に来てくれた。**場所はY2の聖地山形明正 G。明正との試合なのであまり大きな声で言えませんが、「Y2の聖地」の位置を守るために、明正の選手には頑張ってもらいたい（山東戦の後から！）。先発は、**GK クロサカ、MF タクオ**がスタメンに今期初めて名を連ねたように、3年生中心。**2年生 DF タイセー、MF カイト、MF ベジータ**（以下ベジ）は先発でしたが、他8名が3年生。ここ最近3年生の先発は4名そこそこだっただけに、いよいよ3年生の締めくくりに入った山東。**この3年中心の布陣、もちろん勝ちに行った上でのもの。**3年生の選手に対してしっかりと違いを見せている2年生3人は先発だが、ここまで先発もあった他の2年生は正直「どっちもどっち」。だったら3年生を優先しよう、という布陣に過ぎない。

試合が始まると、最近の山東の特徴でもあるセットプレーから連続してチャンスを作る。まず、CKを**3年 CB ワタコー**がうまく相手マークを撒（ま）いて合わせるものの、相手GKのナイスセーブに合い、得点ならず。「これは入った」と思いましたが、ワタコーさんの体がインパクトの瞬間ブレブレな分、パワーがボールに伝わり切れなかったか<sup>2</sup>。また、左斜めから右足で蹴られたFKも、巻いてファーサイドに直接入りそうな軌道に見えた。ちょっと触っただけでも入るボールでしたが、触り切れず、結局得点ならず。**連続して訪れたセットプレーからのチャンスを逃すと、明正が逆に盛り返す。**「試合の入りで早々に得点するなんて虫の良い話ではあるが、逃したな〜。試合が五分五分の流れになっちゃったよ」と悔やんでいると、前半8分再びCKを得て、**今度はワタコーが頭でしっかり合わせ、山東先制！**6月中盤からワタコーさん、頭がキレッキレ<sup>3</sup>。今期期待され続けるも全く決められなかったヘディングシュートを、ようやく決める。**キした効果だね！**先制、初ヘディング得点と、いろんな意味で喜んでいましたが、そこから10分も経たない状況で、3年GKクロサカ、ゴールキックをSBにパス。確かに相手はそのSBから少々離れていたが、寄せられたら苦しそう。そのSB、寄せられる前にGKにリターン。いやな予感はしました。そんなにすぐリターンが来るとは思わず準備を全くしていなかったクロサカ、慌てて足でトラップにいったところを**痛恨のトンネル。山東のオウンゴールにて同点**となる。このシーン、いろいろミスはあるのですが、**齋藤 GK コーチが試合後指摘したように、「GKへのパスはゴールを外す（パスミス・トラップミスがあってもゴールに結びつかないように）」という基本が身につけていなかったことが一番大きい。**試合は振り出しに戻る。山東はFW中心の単発の攻撃が目立つし、中盤でのパスミス（コントロールのミス）が多い。セカンドボールを拾っても、アバウトなパスが目立ち、自滅気味。ボールを丁寧かつ素早く動かすに至らない。そのため、中盤で奪われ際に鋭いカウンターを受けることが多い。**明正FWに対応する山**

<sup>2</sup> 体が空中で硬直し変な動作が入ってしまっているため、素直にボールを叩けていない。具体的に言うと、腰の関節（上部）の動作がボールを飛ばそうとする方向に沿った素直な動きになっていない。

<sup>3</sup> 6月18日（土）、ヘディングをした3年DFマツキに遅れて突撃し、頭と頭を衝突させ、額を7cm切り、あまりの出血のために救急車で運ばれたワタコー（と犠牲者マツキ）。その際、迅速に対応して頂いた菊川さんはじめ保護者の皆さま、また病院にも駆けつけて下さった教頭先生、ありがとうございました。

東 CB の足がいつも以上に重く感じられる。「ワタコーって、こんなにも鈍間（のろま）だっけか〜」とベンチで、齋藤さん、**3年ワカバマネ**と話になる。ワカバは「クラスマッチ・体育祭で疲れてるんじゃないですかね〜」とかぼう。私は最初、「関係ね〜よ（実力だよ）」と取り合わなかったが、1対1では振り切られてばかり、カバーリングもサボる、とまあ話にならない。そんな悪い展開の中、**相手左サイド深いところで相手をワンツーでいなしてゴール付近に侵入した2年MFベジが角度のないところから貴重な追加点を決める**。押され気味の試合展開ただけに、有難く感じられた。しかし！ シュートの何個か前のシーンが**オフサイドだったということ**で、**得点を取り消され、明正の間接FKとなる**。シュートのシーンが**オフサイドという判定なら取り消しもわかるが、その何個か前のシーンを巻き戻すなんて、見たことない**。旗を上げなかったことが副審の判定ミスだったとしても、あそこまで流れたら（流したら）ロールバックはあり得ない。とまあ、不思議な光景が繰り広げられたが、**生徒が副審をする2部以下では仕方のないこと、と早めに諦め。しっかり得点して、勝てばいいんです**、はい。なんてカッコイイこと言いましたが、この試合、予想通り苦しい状況で、どうなるか全く分からない。前半全体で4分6分の展開の試合は1対1のまま前半終了。

後半開始されると、心身ともにリフレッシュした山東がFWを中心に立ち上がりから攻め立て、**ベジがゴール前の浮き球を冷静に左足ボレーで合わせ、後半開始3分で明正を突き離す。2-1。前半の得点を取り消され、内心期するものがあったのでしょう**。左MFですが、神出鬼没にゴール前に現れ、大仕事をやってのけた。これで少し落ち着いてボールを回せるかとも思いましたが、山東が押し込んだ後の明正のカウンターがやはり鋭い。**DFとMFの間のエリア=バイタルエリアで簡単に受けられ、ドリブルで剥がされるため、相手の攻撃の枚数と同数のDFで対応しなければならないシーンが多い**。バイタルで簡単に受けられてしまうのも、相手FWの1枚が裏をしっかり狙っており、DFが裏（後ろ）の対応と前（バイタル）の対応どちらも迫られているのが大きい。山東からしたら、DFが1対1の対応でそもそも負けなければ大丈夫と言えるが、それも覚束ないとなると、やはりバイタルをボランチと挟み込む（またはボランチがバイタルで受けようとする相手マークを受け持つ）必要があるが、それもしっかりできているとは言えない。DFやボランチだけの問題ではない。**横パスを奪われるなどの攻撃における奪われ方が悪かったり、奪われた後の切り替えが遅く、再度のボール奪取、または少なくともフレーの限定ができていない**ということでもある。内容的には「撃ち合い」というか、どちらも手厚く攻め続けることができず、ボールが行ったり来たりする試合展開が続きましたが、**またもやベジがこぼれ球をゴールに叩きこみ、3-1へ。明正戦で活躍するベジ、いいね<sup>4</sup>！！** やっと2点差がつき、交代のカードも切りやすくなる。**一発持っている男、理想主義者3年MFユータロー**を投入。しかし、二点差の一安心も東の間、山東左サイドでのビルドアップを跳ね返されたボールがゴール中央に転がるが、山東の選手が誰もいない！！ あり得ないシーン。CBがビルドアップ時に左右に開いて、GKとボランチと菱形を作るのはセオリーとしても、ボールが左に展開された後ならCBや右SBは内側に絞り始めなければならない。試合後に確認しましたが、単なるCBのサボり。また、菱形の頂点にいるボランチのバランス感覚はどうだったのか。ともかく、そのゴール中央のボールをいとも簡単に相手に持って行かれ、**失点。3-2**。何なんだ、

<sup>4</sup> 読者の中には分からない方もいらっしゃると思うので、念のため説明すると、ベジの父は明正の監督（副校長様）、ベジの祖父は明正の理事長殿なのです。

この試合は。その後、試合展開は、山東が突き放すか明正が同点に追いつくか全く分からない状況。本当にハラハラさせやがる。そんなときに効くのが、やはり個の力。**3年FWサンペーが、縦パスを収めつつ反転してゴールにドリブルで迫り、相手CBをぶち抜いてそのままフィニッシュ。鮮やかに決め4-2とする。**2点差で落ち着くのは問題ではありますが、やはり1点差よりも内心穏やかでいられる。**自分の得意の角度をもっている男3年応援団長兼FWフミキ**投入。しかし、この日の山東の試合運びは本当にピリッとしない。左サイドでボールを持たれ、ワンツーで剥がされ（ワンツーの動きに全く付いていけず）、センターリングを許すと、明正の選手の一度目のシュートは合わなかったが、そのボールがフリーのファーサイドまで流れ、ドフリーの選手に合わせられて**失点。4-3。**試合を面白くさせますね～。その後、残り10分で**左足のスペシャリストの山東祭実行委員長3年マツキ**を投入。マツキさんはこの試合右足でパスをすることが多く、持ち味を發揮せずじまい。**ユータローさんは、得意のカットインからファーのゴールポストに当たる惜しいシュートを放ち、ピッチに出場の痕跡を残す。フミキは、盟友3年FWユートから素晴らしいセンターリングを受けると、ゴール前でボレーを吹かし（上に上げ）、チャンスをふいにする。**両手でピッチを叩き悔しがるフミキ。ですがね～フミキさん、あなたには悪いが、あなたがカッコよくボレーを叩きこむのは似合わないとは言い過ぎとしても、練習でも見たことがないよ。これまでボレーの練習を意識高くやっていたとも、到底思えない。**そこは、ベンチのチームメートの突っ込みが正しい。「フミキ、頭だっ！」**確かにヘディングするにはボールはやや低かったが、十分ヘディングで狙えた。前々から、監督である私も「お前の足はおもちゃだから、すべてヘディングで行く気でやれ（お前の利き足は頭だ）」と言ってたじゃないですか。ともあれ、**応援席をフミキが最後に沸かして見せ場を作ったところで、ゲームセット。**結局この試合、**4-3のギリギリの勝利。**

苦しい試合になるはずと心の準備をしていましたから、スコア自体は以外でも何でもありませんが、ディフェンスを中心にパフォーマンスの悪さが目立った。**今週末は、3年生の最終戦（前期最終戦）。課題満載、で終わっても仕方がない（その課題を克服する機会を3年生は持ち合わせていないのですから）。最終戦にふさわしい内容・結果がほしい、切実に。**ともかくも、すっきりした勝ちではなかったが、この試合で勝ち点3を積み上げ、**山東の前期優勝が決定。3年生諸君、おめでとう！！**

次節最終戦の相手は、山本学園A。7月9日（土）、場所は東海大山形高校サッカー場。この試合は5月1日に雷雨で順延になったもので、2年ザキヤマと私とで東海B対酒西の試合を副審のためだけに白鷹へ行った努力を東海M川先生がお認め下さり、東海Gでの試合が実現しました。3年生最終戦の応援よろしくお願い致します。

**7月9日（土）Y2B第8節 VS 山本学園A 14:00～ @東海G**